

乙 貞 おと さだ

第62号 通巻12巻 第1号
1992年5月1日 発行
守山市立埋蔵文化財センター
☎0775-85-4397
〒524-02
守山市服部町2250番地

はじめに

平成4年度の始まりと同時に、現在開催中の春季特別展の準備と新年度の発掘調査準備であわただしく1カ月間を過ごしてきました。鯉のぼりが風に泳ぐこの時期、ようやく本格的に市内各遺跡で発掘調査を着手できるようになりました。今号ではこれからの調査予定と実施発掘調査の結果、状況を報告いたします。

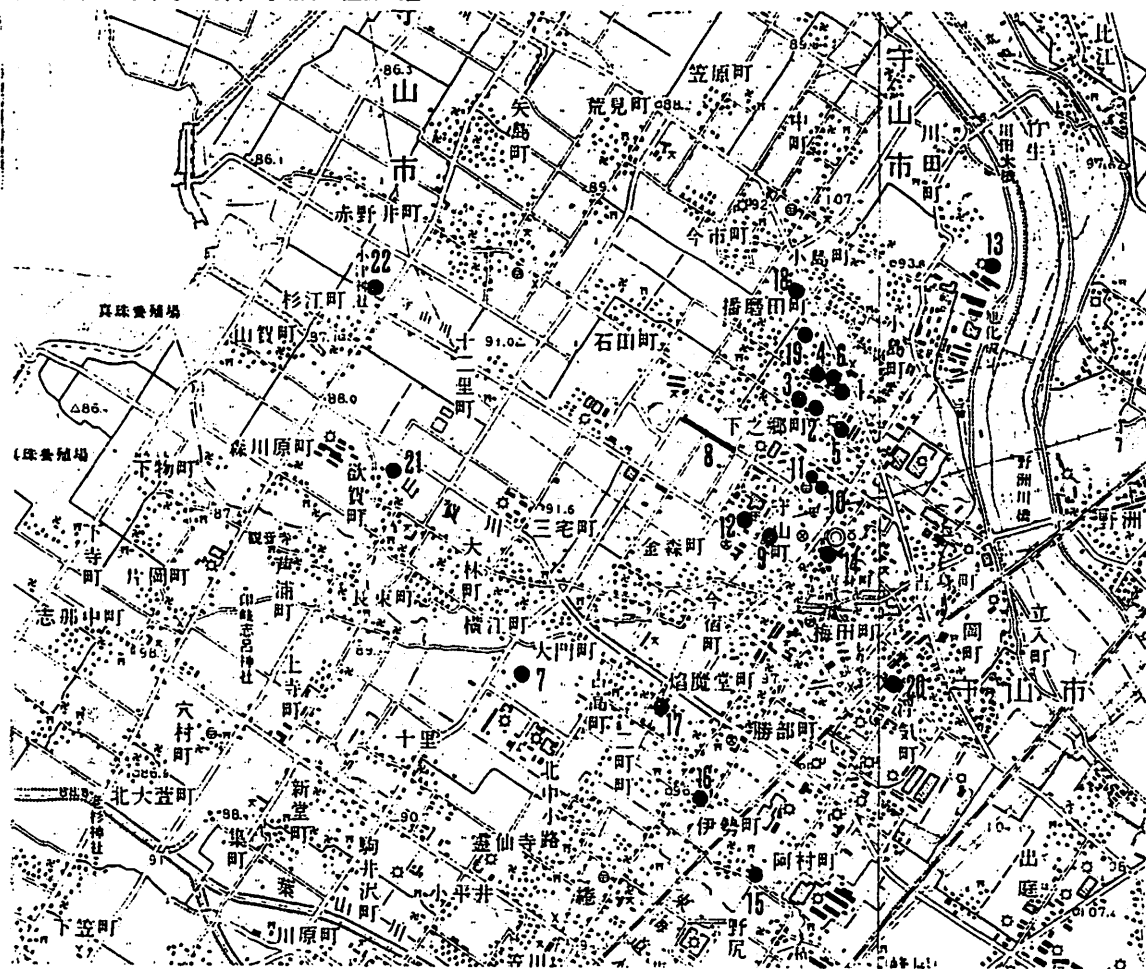
【平成4年度の発掘調査の実施予定】

(次頁に位置図を掲載)

遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因	遺 跡 名	所 在 地	調 査 原 因
1酒 寺 遺 跡	播磨田町	店舗建築	14吉身中遺跡	吉 身 町	市庁舎増築
2酒 寺 遺 跡	播磨田町	公園他建設	15伊 勢 遺 跡	伊 勢 町	倉庫建築
3酒 寺 遺 跡	播磨田町	区画整理	16伊 勢 遺 跡	伊 勢 町	共同住宅
4酒 寺 遺 跡	播磨田町	共同住宅	17古 高 遺 跡	古 高 町	宅地開発
5酒 寺 遺 跡	播磨田町	店舗建築	18八ノ坪遺跡	播磨田町	給油所建築
6酒 寺 遺 跡	播磨田町	宅地造成	19八ノ坪遺跡	播磨田町	住宅建築
7下 長 遺 跡	古 高 町	工業団地	20吉身南遺跡	浮 気 町	再開発事業
8吉身西遺跡	下之郷町	道路建設	21欲賀城遺跡	欲 賀 町	ほ場整備
9吉身西遺跡	守 山 町	倉庫建築	22杉 江 遺 跡	杉 江 町	農村下水道
10吉身西遺跡	守 山 町	共同住宅	23市 内 遺 跡	市内各所	下水道工事
11吉身西遺跡	守 山 町	宅地造成	24市 内 遺 跡 個人住宅建築に先立ち 補助事業として市内遺跡で発掘調査 を実施。(3年度11遺跡15件実施)		
12吉身西遺跡	守 山 町	河川改修			
13川 田 遺 跡	川 田 町	工場増築			

土地区画整理事業によって、播磨田町地先の酒寺遺跡、八ノ坪遺跡と守山町の吉身西遺跡などで、開発に伴い多くの調査が予定されています。また、この表は年度当初の予定であり、列挙している遺跡以外の調査が追加されそうです。皆さんの身近なところで遺跡の発掘調査が実施されるかも知れません。気軽に声をかけて下さい。調査担当一同、お待ちしております。

【平成4年度発掘調査位置図】



【発掘調査だより】

新年度は始まったばかりですが、5遺跡で調査が実施され、既に2遺跡の調査（うち1遺跡は3年度からの継続調査）が終了しました。調査結果ならびに経過をお伝えします。

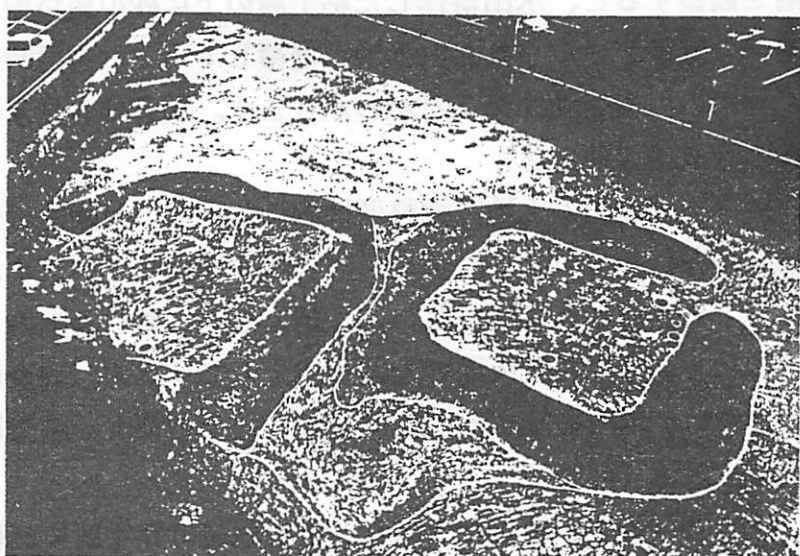
□ □ □ 終了した調査 □ □ □

■吉身西遺跡（前表11）

調査は、守山郵便局北隣の水田地約 770m²で宅地造成工事に先立って実施したものです。ここからは^{（ちまきやうりつ）}竪穴住居跡3棟、溝、土壇、^{（とこう）}柵列などがみつかりました。住居は3棟とも方形状で、1棟が一辺約8m、部分的な検出にとどまった2棟がそれぞれ5m、4m以上の大きさです。掘り下げてみると、床面から4穴の柱穴の他に、中央に^{（ろ）}炉、南辺に貯蔵穴が検出されました。貯蔵穴は直径50cm程の大きさで、まわりに小石を敷いてあります。出土遺物から弥生時代後期末の住居であると考えられます。調査は4月20日に着手し、29日に終了しました。

■酒寺遺跡（前表1）

播磨田町字夕気 312番地、琵琶湖大橋取り付け道路沿いのボウリング場道向かいでの調査。縦長の調査地を3区に分けて実施したところ、両端の調査区から方形周溝墓を検出しました。北側の調査区で調査した弥生時代中期と考えられる周溝墓



については前号の「乙貞」

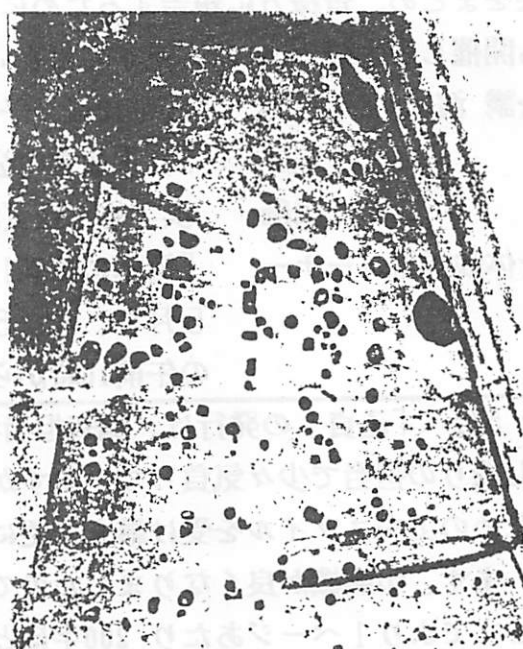
▲調査した方形周溝墓2基

で報告しましたが、道路沿いの調査区からも方形周溝墓2基がみつかりました。写真のとおり接するように2基が築かれています。全形を調査した方は一辺約7m、周溝の幅2.5m、深さ70cmで西隅が途切れています。また一部が調査地外となる方は、一辺約8.5m、周溝幅2m、深さ60cmの規模になります。反対側の調査区の周溝墓（弥生時代中期）とは時期が異なり、出土土器から弥生時代後期に築かれた墓であると考えられます。

□□□ 実施中の調査 □□□

■川田遺跡（前表13）

調査は川田町の工場地内で工場建築に先立ち、平成3年12月から継続して実施しています。前号では、鎌倉時代の屋敷跡（写真）の調査成果を報告しましたが、現在、そこから約60cm下層からみつかった古墳時代の水田跡を調査中です。面積約1000㎡を掘り下げていますが、大きな畦と水田を区画する小さな畦を検出しています。水田1区画は50～70㎡の広さで、方形状に近い形のものが多く、大きな畦には水口も確認しています。上層の鎌倉時代



▲上層の鎌倉時代の掘立柱建物柱穴

層を観察すると、水田耕作した粘土層の上に砂の層が覆い、さらにその上に鎌倉時代の屋敷がつくられた粘土層が堆積していて、古墳時代に営まれていた水田は野洲川の氾濫を受けたことがわかります。調査は5月末まで行う予定です。

■酒寺遺跡（別表2）

播磨田町地先の土地区画整理地内において、公園建設他に先立ち、4月1日より調査を行っています。現在、溝4条を検出していますが、昨年度調査でこの溝はすでに確認されていました。4条とも、おおむね幅約4m、深さ1mほどの大きな溝で、弥生時代後期の土器が出土しています。調査は土地区画整理事業関係と合わせ、年内実施する予定ですので、その都度、調査経過を報告いたします。

■下長遺跡（別表7）

前号でも報告しましたとおり、下長遺跡で昨年度に継続して発掘調査を4月15日から実施しています。工業団地造成に先立ち、昨年度約3000㎡の調査を終え、残り7000㎡の面積を調査する予定です。これまでの調査で古墳時代の大規模な集落が確認されていますが、今回は集落の北辺にあたる地点で実施します。はたしてどんな発見があるか？次号で第一報を掲載します。ご期待下さい！

特別展開催中！

埋蔵文化財センターでは、春季特別展を5月10日（日）まで開催しています。

「平成3年度調査速報展」のテーマで、昨年度実施した遺跡発掘調査の調査成果をまとめ、皆様方に報告するために企画しました。展示の他に、下記の行事も開催しますので、ぜひご見学ください。（開館時間 9：00～16：00）

☆講演会 日時 5月10日 午後2時～

演題 「日本最古の公文書～中主町湯ノ部遺跡の調査から」

講師 浜 修 氏（滋賀県文化財保護協会主任技師）

☆体験学習コーナー 「拓本に挑戦!!」

5月3、4、5日の午前10時から午後3時までと10日の午前10時から12時まで。

【後記】「乙貞」の発行は、調査担当者6名が1年毎、輪番制で担当します。久し振りの担当で少々気負っていますが、前任者達が築き上げてきた読み易くするための工夫スタイルを受け継ぎ、更に価値のある紙面づくりに努力していきます。まず、印刷機が良くなりましたので、紙面をワイドにしました。その結果、いままでより1ページあたり200字ほど多くの情報を掲載できるようになりました。これをどのように生かすか、大変重みのある200字です。（馬耳東風）